

Title	平成 1 4 年度東京歯科大学千葉病院歯科医師臨床研修における初期研修の到達目標および総合診療研修の到達目標とその評価
Author(s)	桜井, 薫; 滝沢, 雅一; 高橋, 潤一; 山倉, 大紀; 片倉, 朗; 久保, 周平; 片田, 英憲; 一戸, 達也; 伊藤, 彰人; 山田, 了; 角田, 正健; 石井, 拓男
Journal	歯科学報, 102(4): 249-270
URL	http://hdl.handle.net/10130/582
Right	

臨床研修の目標と評価

平成14年度東京歯科大学千葉病院歯科医師臨床研修における
初期研修の到達目標および総合診療研修の到達目標とその評価

櫻 井	薫	瀧 澤	雅 一	高 橋	潤 一
山 倉	大 紀	片 倉	朗	久 保	周 平
片 田	英 憲	一 戸	達 也	伊 藤	彰 人
山 田	了	角 田	正 健	石 井	拓 男

千葉病院歯科臨床研修カリキュラム検討委員会

はじめに

卒直後における研修が、歯科医師としての質を決めるといっても過言ではない。歯科医師臨床研修制度の目的は、歯科医学の進歩に対応するために卒直後の歯科医師を対象とした生涯研修の基礎づくりにある。

歯科医師にとって、知識と同様に重要である技術や態度(患者との十分なコミュニケーション能力など)の修得が必要であり、また予後を見据えて、総合的に診療計画を立てる能力も必要である。少子・高齢社会、疾病構造の変化等に対応できる歯科医師の質を確保するための基盤づくりを可能にするためにも本研修を行う意義がある。

千葉病院歯科臨床研修カリキュラム検討委員会では、臨床研修の充実のために、千葉病院で行われる平成14年度の学習目標の設定、学習方法の立案および学習評価法の策定を行った。その成果として「歯科医師臨床必携」を作成した。必携の構成は、全般的心得、歯科医師臨床研修プログラム概要、歯科医師臨床研修日程、初期研修プログラム、総合診療研修プログラム、総合診療科資料録、東京歯科大学千葉病院の概要と診療手続、臨床検査部・薬局・総合予診室に関して、さらに感

染予防対策マニュアルおよび医療安全管理マニュアルからなる。今回はそのうち、「初期研修の到達目標」および「総合診療研修の到達目標とその評価」を公表する。

初期研修は、5月以降研修医が患者を担当したときに、混乱が生じずかつ円滑な診療の進行を目的として設けた。また臨床研修にあたっては、研修医と指導医の両者が同一の到達目標を持ち、かつ同一の基準で評価を行うことを求めて、臨床研修評価シートを作製した。これは34種類の評価シート(評価点「4」は1人での確にできた、「3」は指導医の助言によりできた、「2」は指導医の介助によりできた、「1」はほとんどできなかったことを意味する)からなり、評価シートの一枚一枚に一般目標と行動目標が記載されている。また、器材等の準備が的確にできたか、さらに医療面接が的確にできたかのチェックボックスも設けてある。

今後はこの臨床研修必携を基に東京歯科大学千葉病院における歯科医師臨床研修を行い、さらに改訂を加えてより完成度の高いカリキュラムを作成していく。

初期研修の一般目標と行動目標

研 修 課 題	
1	<p>診療の基本技能：診療の態度技能 - 医療面接 GIO：正確な症状把握，良好な医師・患者関係を築くために医療面接の基本を修得する。 SBOs：1 歯科医師がとる好ましい態度で患者と家族に対応できる 2 患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景を理解し適切に対応できる 3 来院動機と主訴を聞き取り記述できる 4 既往歴を聞き取り記述し，重要性を判断できる 5 時系列に現病歴を聞き取り記述できる 6 プライバシーへの配慮ができる 7 収集した医療情報を整理し，問題点を抽出できる 8 診断結果と治療方針と予後について説明できる</p>
2	<p>診療の基本技能：診療の態度技能 - 安全性への配慮と危機管理 GIO：歯科医療における安全性と危機管理について基本的知識，態度および技能を修得する。 SBOs：1 歯科医療を行うにあたっての危険性を説明できる 2 医療事故の防止法について説明できる 3 医療事故防止のための対策について説明できる 4 医療事故発生時の対応法について説明できる 5 提示された症例について危機管理の点から評価できる 6 危機管理マニュアルに沿った対応ができる 7 緊急を要する医療事故発生時の迅速かつ適切な対応法を説明できる 8 インシデントおよびアクシデント報告書を作成できる</p>
3	<p>診療の基本技能：基本的診療技能 - 指示書等の作成 GIO：診療を進めるために，診療記録と各種指示書の作成方法を修得する。 SBOs：1 診療記録が記載できる 2 処方箋の書式が作成できる</p>
4	<p>診療の基本技能：基本的診療技能 - 診査と検査技術 GIO：一口腔単位の治療を行うために，口腔内資料の作成を修得する。 SBOs：1 口腔内写真を適確に撮影することができる 2 口腔内写真から所見を読みとることができる 3 診査用模型を作製することができる 4 診査用模型から所見を読みとることができる 5 エックス線写真を適確に撮影することができる 6 エックス線写真から所見を読みとることができる</p>
5	<p>疾患別の基本治療技能：全身管理および救急処置 GIO：安全な歯科治療を行うために，全身管理と救急処置に関する知識と技能を修得する。 SBOs：1 モニタリング機器を装着できる 2 提示された症例のバイタルサインを得ることができる 3 一次救急処置を行うことができる</p>
6	<p>疾患別の基本治療技能：歯・歯髄・歯周組織の疾患 齲蝕 GIO：齲蝕が原因で発生した障害の回復のために，齲蝕の基礎を理解し治療法を修得する。 SBOs：1 マネキンを使用して特定の歯冠修復処置を行うことができる 2 齲窩の処置を行うことができる 3 簡単な修復処置を行うことができる 4 デンボラリーインレーを作製できる</p>
7	<p>疾患別の基本治療技能：歯・歯髄・歯周組織の疾患 歯髄・根端性歯周組織疾患治療 GIO：基本的な歯内療法処置を行うための治療法の知識，技術を修得する。 SBOs：1 防湿法，除痛法，根管清掃，貼薬などの基本的な根管処置操作が実施できる 2 側方加圧填塞法による根管充填の基本操作を行うことができる 3 齲窩の処置や髄室開拓などの基本的な切削操作が実施できる</p>
8	<p>疾患別の基本治療技能：咬合・咀嚼障害 歯質・歯の欠損 GIO：歯質・歯の欠損の治療のために，固定性修復処置についての基本的な知識，技能を修得する。 SBOs：1 マネキンを使用して特定の歯冠修復処置を行うことができる 2 デンボラリークラウンを作製できる</p>
9	<p>疾患別の基本治療技能：口腔外科小手術 GIO：基本的な口腔外科処置を行うための治療法の知識，基本的技術を修得する。 SBOs：1 抜歯についての基本的手技，器具の操作ができる 2 縫合についての基本的手技，器具の操作ができる</p>
10	<p>疾患別基本治療技能：歯・歯髄・歯周組織の疾患 歯周疾患 GIO：確実な歯周基本治療を行うためにスケーラーのシャープニングを修得する。 SBOs：1 シャープニングを行うことができる</p>
11	<p>生涯研修歯科治療技能：医療情報の収集 GIO：歯科医療の情報を収集し整理するため，その基礎と実際を理解する。 SBOs：1 医療情報を収集し，整理できる</p>

歯科医師臨床研修評価シート一覧

様式	G I O
1	個人の状態に応じたセルフケアのため、口腔保健指導を修得する
2	個人の口腔保健状態に応じた予防処置を修得する
3	齲蝕により発生した障害を回復するため、齲蝕治療を修得する
4	基本的な歯内療法処置を行うための治療法を修得する
5	基本的な歯周治療を行うための治療法を修得する
6	歯質・歯の欠損の治療のため、固定性補綴装置についての知識、態度、技能を修得する
7	歯の欠損の治療のため、可撤性義歯についての知識、態度、技能を修得する
8	歯質・歯の欠損の治療のため、インプラント治療についての知識を修得する
9	高齢者の QOL 向上のため、精神的、身体的特徴を考慮した対応方法を修得する
10	歯質・歯の欠損に対する治療を行うための技工技能を修得する
11	不正咬合や顎関節症などの治療のため、簡単な装置の技工技能を修得する
12	M. T. M.を行うため、矯正治療の基本的処置を修得する
13	小児への対応法を修得する
14	乳歯・幼若永久歯の歯冠修復処置を修得する
15	乳歯・幼若永久歯における歯髄・根端性歯周組織疾患の治療法を修得する
16	乳歯を抜歯するための知識、態度、技能を修得する
17	簡単な咬合誘導処置を修得する
18	小児に対する保健指導を修得する
19	抜歯を安全に行うための知識、態度、技能を修得する
20	無痛治療を安全に行うため、必要な局所麻酔の知識、態度、技能を修得する
21	初診の症例に対する基本的な診断技能を修得する
22	手術時の術衣の着衣、手指・術野の消毒の仕方を修得する
23	無痛治療を安全に行うため、必要な局所麻酔の応用技能を修得する
24	障害者の歯科診療を行うため精神的、身体的特徴を考慮した対応方法を修得する
25	高齢者の QOL 向上のため、精神的身体的特徴を考慮した管理方法を修得する
26	口腔領域の神経疾患・心因性病態に関する診断と治療の実践を修得する
27	歯科治療の安全性を確保するため、全身管理と救急処置に関する知識、技能、態度を修得する
28	患者の放射線被曝に対する不安を取り除くため、人体に対する放射線の影響と防護の方法を修得する
29	適切な画像を得るため、画像検査手技を修得する
30	適切な画像診断を行うため、画像検査の選択ならびに読影手順を修得する
31	CT 画像検査の適応を正しく理解するため、再構成画像を用いた読影法を修得する
32	検査を基盤とした歯科医療を行うため、一般臨床検査を修得する
33	検査を基盤とした歯科医療を行うため、歯科特殊検査を修得する
34	歯科で処方される医薬品を正しく利用するため、各種医薬品の基本的特徴を修得する

GIO: 個人の状態に応じたセルフケアのため, 口腔保健指導を修得する(様式 1)

口腔保健指導 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 齲蝕リスクに関する検査ができる		4	3	2	1
2. ブラークコントロール・レコードを記録できる		4	3	2	1
3. 口腔清掃指導ができる		4	3	2	1
4. 食事指導ができる		4	3	2	1
5. 生活習慣指導ができる		4	3	2	1
6. 患者の齲蝕および歯周疾患の罹患リスクについて(レポート)		4	3	2	1

GIO: 個人の口腔保健状態に応じた予防処置を修得する(様式 2)

予防処置 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. PMTC ができる		4	3	2	1
2. スポーツマウスガードを作製できる					
1) 印象採得ができる		4	3	2	1
2) マウスガードを作製できる		4	3	2	1
3) 使用方法を指導できる		4	3	2	1
3. フッ化物を応用できる					
1) 防湿法ができる		4	3	2	1
2) フッ化物を応用できる		4	3	2	1
4. 小窩裂溝予防填塞ができる					
1) 防湿法ができる		4	3	2	1
2) 歯面を清掃できる		4	3	2	1
3) 予防填塞ができる		4	3	2	1

GIO: 齲蝕により発生した障害を回復するため, 齲蝕治療を修得する(様式 3)

治療計画 症例数 /5 年 月 日 指導医

1. 提示された症例の歯冠修復法を適切に選択できる(レポート) (修復法, 使用する材料, 予後の判定について)	4	3	2	1
---	---	---	---	---

インレー修復①(~ 咬合採得まで) 症例数 /5 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 窩洞形成ができる					
1) 切削器具を選択できる		4	3	2	1
2) 切削器具を把持できる		4	3	2	1
3) 齲窩の開口と軟化象牙質の除去ができる		4	3	2	1
4) 覆罩, 裏層ができる		4	3	2	1
5) 適切な窩洞形態を付与できる		4	3	2	1
2. 印象採得ができる		4	3	2	1
3. 咬合採得ができる		4	3	2	1

インレー修復②(修復物の合着) 症例数 /5 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 修復物の試適ができる		4	3	2	1
2. 咬合調整ができる		4	3	2	1
3. 修復物の合着ができる		4	3	2	1

成形修復 症例数 /5 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 窩洞形成ができる					
1) 切削器具を選択できる		4	3	2	1
2) 切削器具を把持できる		4	3	2	1
3) 齶窩の開口と軟化象牙質の除去ができる		4	3	2	1
4) 覆罩,裏層ができる		4	3	2	1
5) 適切な窩洞形態を付与できる		4	3	2	1
2. 充填ができる					
1) 防湿,隔壁ができる		4	3	2	1
2) ブライミングできる		4	3	2	1
3) 填塞,重合ができる		4	3	2	1
3. 形態修正,研磨ができる		4	3	2	1

GIO: 基本的な歯内療法処置を行うための治療法を修得する(様式4)

麻酔抜髄 症例数 /3 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 基本的な前処置を実施できる					
1) 除痛法ができる		4	3	2	1
2) 防湿法ができる		4	3	2	1
2. 切削操作を実施できる					
1) 軟化象牙質を除去できる		4	3	2	1
2) 髄室開拓ができる		4	3	2	1
3) 根管口を明示できる		4	3	2	1
3. 抜髄が実施できる					
1) 歯髄組織を除去できる		4	3	2	1
2) 根管形成ができる		4	3	2	1
4. 薬剤の選択,応用ができる		4	3	2	1
5. 仮封処置ができる		4	3	2	1

感染根管処置 症例数 /3

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 基本的な前処置ができる					
1) 除痛法ができる	4	3	2	1	
2) 防湿法ができる	4	3	2	1	
2. 切削操作ができる					
1) 軟化象牙質を除去できる	4	3	2	1	
2) 髓室開拡ができる	4	3	2	1	
3) 根管口を明示できる	4	3	2	1	
3. 根管内の感染物質の排除処置ができる					
1) 根管内容物を除去できる	4	3	2	1	
2) 根尖孔を穿通できる	4	3	2	1	
3) 根管形成ができる	4	3	2	1	
4) 根管治療の効果を判定できる	4	3	2	1	
4. 薬剤の選択, 応用ができる	4	3	2	1	
5. 仮封処置ができる	4	3	2	1	

根管充填 症例数 /6

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 基本的な前処置ができる					
1) 防湿法ができる	4	3	2	1	
2. 根管充填ができる					
1) ガッタパーチャポイント試適のエックス線写真を撮影できる	4	3	2	1	
2) 側方加圧填塞法ができる(エックス線写真を含む)	4	3	2	1	

GIO: 基本的な歯周治療を行うための治療法を修得する(様式5)

緊急処置 症例数 /2

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 口腔内を診査できる					
1) 歯肉の形態を診断できる	4	3	2	1	
2) 歯肉の色調を診断できる	4	3	2	1	
3) 波動の有無を診断できる	4	3	2	1	
4) 瘻孔の有無を診断できる	4	3	2	1	
5) 歯周ポケットを診断できる	4	3	2	1	
6) 外傷性咬合の有無を診断できる	4	3	2	1	
2. エックス線写真を診査できる					
1) 骨の吸収量を診断できる	4	3	2	1	
2) 骨の吸収型を診断できる	4	3	2	1	
3) 他の疾患との鑑別を診断できる	4	3	2	1	
3. 本症の原因を説明できる	4	3	2	1	
4. 本症例を診断できる	4	3	2	1	
5. 治療方針を説明できる	4	3	2	1	
6. 咬合調整ができる	4	3	2	1	
7. 膿瘍切開ができる	4	3	2	1	
8. 投薬できる	4	3	2	1	

歯周組織検査 症例数 /2

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 歯周組織検査ができる		4	3	2	1
1) 歯の状態を診査できる		4	3	2	1
2) 歯周ポケットの深さを診査できる		4	3	2	1
3) 歯肉の炎症程度を診査できる		4	3	2	1
4) 歯肉退縮量を診査できる		4	3	2	1
5) 動揺度を診査できる		4	3	2	1
6) 分岐部病変を診査できる		4	3	2	1

治療計画の立案 症例数 /2

年 月 日 指導医

1. 患者に応じた治療計画を立案できる(レポート)	4	3	2	1	
(診断, 歯周基本治療, 歯周外科治療, 咬合回復治療, メインテナンスについて)					

ブラッシング指導 症例数 /2

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. ブラークコントロール・レコードを測定できる		4	3	2	1
2. 患者のブラッシングが上手な点をほめられる		4	3	2	1
3. 患者のブラッシングの行き届いていない点を指摘できる		4	3	2	1
4. ブラッシング法を選択できる		4	3	2	1
5. 選択したブラッシング法を指導できる		4	3	2	1
6. 上達した点をほめられる		4	3	2	1
7. ブラッシングの習慣について指導できる		4	3	2	1
8. 食事指導ができる		4	3	2	1
9. 生活習慣指導ができる		4	3	2	1
10. 補助的刷掃具を指導できる		4	3	2	1

スケーリング・ルートプレーニング 症例数 /5

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. ブラークコントロールの改善を確認できる		4	3	2	1
2. 除痛法ができる		4	3	2	1
3. スケーラーを選択できる		4	3	2	1
4. ポジショニングをとれる		4	3	2	1
5. 固定点を得られる		4	3	2	1
6. ワーキングエンドを選択できる		4	3	2	1
7. スケーリングができる		4	3	2	1
8. ルートプレーニングができる		4	3	2	1

メインテナンス 症例数 /2

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 歯周組織を診査できる		4	3	2	1
2. 患者のブラッシングが上手な点をほめられる		4	3	2	1
3. 患者のブラッシングの行き届いていない点を指摘できる		4	3	2	1
4. PMTC ができる		4	3	2	1
5. ブラッシングの習慣について指導できる		4	3	2	1
6. 食事指導ができる		4	3	2	1
7. 生活習慣指導ができる		4	3	2	1
8. 補助的刷掃具を指導できる		4	3	2	1

GIO: 歯質・歯の欠損の治療のため, 固定性補綴装置についての知識, 態度, 技能を修得する(様式6)

クラウン① 症例数 /2 部位 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 歯質・歯の欠損の治療方針を説明できる		4	3	2	1
2. 軟化象牙質の除去が確実にできる		4	3	2	1
3. 支台歯形成ができる					
1) 適切な切削用具を選択できる		4	3	2	1
2) 歯肉圧排ができる		4	3	2	1
3) 支台歯形態を付与できる		4	3	2	1
4. 印象採得ができる		4	3	2	1
5. 咬合採得ができる					
1) フェイスボウトランスファーができる		4	3	2	1
2) 中心咬合位の確認あるいは決定ができる		4	3	2	1
3) 中心咬合位におけるチェックバイトが採得できる		4	3	2	1
4) 前方チェックバイトが採得できる		4	3	2	1
6. シェードテイキングができる		4	3	2	1
7. 仮封処置ができる(暫間被覆冠を含む)		4	3	2	1

クラウン② 症例数 /2 部位 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 完成した修復物の適合の可否が判定できる		4	3	2	1
2. 合着ができる					
1) 隣在歯との接触点を診査, 調整できる		4	3	2	1
2) 修復物の適合を診査できる		4	3	2	1
3) 修復物の咬合接触を診査し, 調整できる(中心咬合位, 側方・前方咬合位)		4	3	2	1
4) 簡易防湿ができる		4	3	2	1
5) 合着材料を選択できる		4	3	2	1
6) 合着操作ができる		4	3	2	1
3. 合着後の咬合の点検, 調整ができる		4	3	2	1
4. 複雑な症例の処置前後の口腔保健指導ができる		4	3	2	1

ブリッジ① 症例数 /1 部位 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 歯質・歯の欠損の治療方針を説明できる		4	3	2	1
2. 軟化象牙質の除去が確実にできる		4	3	2	1
3. 支台歯形成ができる					
1) 適切な切削用具を選択できる		4	3	2	1
2) 歯肉圧排ができる		4	3	2	1
3) 支台歯形態を付与できる		4	3	2	1
4. 支台歯間の平行性を測定できる		4	3	2	1
5. 印象採得ができる		4	3	2	1
6. 咬合採得ができる					
1) フェイスボウトランスファーができる		4	3	2	1
2) 中心咬合位の確認あるいは決定ができる		4	3	2	1
3) 中心咬合位におけるチェックバイトが採得できる		4	3	2	1
4) 前方チェックバイトが採得できる		4	3	2	1
7. シェードテイキングができる		4	3	2	1
8. 適切なりテーナーを作製し, 仮着できる		4	3	2	1

ブリッジ② 症例数 /1 部位 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 完成した修復物の適合の可否が判定できる		4	3	2	1
2. 合着ができる					
1) 隣在歯との接触点を診査,調整できる		4	3	2	1
2) 修復物の適合を診査できる		4	3	2	1
3) 修復物の咬合接触を診査,調整できる(中心咬合位,側方・前方咬合位)		4	3	2	1
4) 簡易防湿ができる		4	3	2	1
5) 合着材料を選択できる		4	3	2	1
6) 合着操作ができる		4	3	2	1
3. 合着後の咬合の点検,調整ができる		4	3	2	1
4. 複雑な症例の処置前後の口腔保健指導ができる		4	3	2	1

GIO: 歯の欠損の治療のため,可撤性義歯についての知識,態度,技能を修得する(様式7)

有床義歯① 症例数 /2 部位 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 義歯の設計を行い,説明できる		4	3	2	1
2. 印象採得ができる					
1) 各個トレーの試適,調整ができる		4	3	2	1
2) モデリングコンパウンドを用いて各部に適した筋形成ができる		4	3	2	1
3) 支台歯に対するマウスプレパレーションができる		4	3	2	1
4) 不要なアンダーカットをブロックアウトできる		4	3	2	1
5) ラバー印象材で2次印象を採得できる		4	3	2	1

有床義歯② 症例数 /2 部位 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 咬合採得ができる					
1) 症例に則した方法や材料を選択できる		4	3	2	1
2) フェイスボウトランスファーができる		4	3	2	1
3) 咬合床の適合を評価できる		4	3	2	1
4) 咬合床を調整できる		4	3	2	1
5) 蠟堤の修正ができる		4	3	2	1
6) 中心咬合位の決定ができる		4	3	2	1
7) 蠟堤を適切に軟化できる		4	3	2	1
8) 中心咬合位を採得できる		4	3	2	1
9) 採得した咬合位の適否を判定できる		4	3	2	1
10) 前方チェックバイトが採得できる		4	3	2	1
11) 人工歯の選択ができる		4	3	2	1

有床義歯③ 症例数 /2 部位 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 試適・装着ができる		4	3	2	1
2. 咬合・機能の回復の確認ができる		4	3	2	1
3. 装着後の調整ができる		4	3	2	1
4. 義歯の取り扱い方法,残存歯の清掃方法を患者に指導できる		4	3	2	1

義歯修理 症例数 /2 部位

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 破損した義歯の修理ができる		4	3	2	1
2. 増歯ができる		4	3	2	1

床裏装 症例数 /2 部位

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 床裏装(直接法)ができる					
1) 義歯床の適合を評価できる		4	3	2	1
2) 咬合状態が評価できる		4	3	2	1
3) 適当な裏装材料が選択できる		4	3	2	1
4) 裏装材料を適切に扱える		4	3	2	1

粘膜調整 症例数 /2 部位

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 粘膜調整ができる		4	3	2	1

GIO: 歯質・歯の欠損の治療のため、インプラント治療についての知識を修得する(様式8)

インプラント治療 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. インプラント治療を説明できる					
1) 概要を説明できる		4	3	2	1
2) 長所を説明できる		4	3	2	1
3) 短所を説明できる		4	3	2	1

GIO: 高齢者の QOL 向上のため、精神的、身体的特徴を考慮した対応方法を修得する(様式9)

高齢者への対応 症例数 /2

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. コミュニケーションがとれる		4	3	2	1
2. 生活指導ができる		4	3	2	1
3. 摂食嚥下機能療法を実施できる		4	3	2	1
4. 口腔機能の維持・向上を目的とした保健指導ができる		4	3	2	1
5. 全身管理を必要とする患者の簡単な歯科治療が実施できる		4	3	2	1
6. 要介護高齢者の簡単な歯科治療を実施できる		4	3	2	1

GIO: 歯質・歯の欠損に対する治療を行うための技工技能を修得する(様式10)

歯冠修復 症例数 /インレー5,クラウン2,ブリッジ(いずれかに) 部位

年 月 日 指導医

1. 各個トレーの作製ができる		4	3	2	1
2. 作業用模型の作製ができる		4	3	2	1
3. 咬合器を選択できる		4	3	2	1
4. 採得された咬合関係を咬合器に再現できる		4	3	2	1
5. 咬合に調和した蠟型作製ができる		4	3	2	1
6. 選択した材料に対して鑄造操作ができる		4	3	2	1
7. 咬合器上で歯冠修復物を仕上げられる		4	3	2	1

有床義歯 症例数 /1 部位 _____

年 月 日 指導医

1. 各個トレーの設計ができる	4	3	2	1
2. 各個トレーの作製ができる	4	3	2	1
3. 作業用模型の作製ができる	4	3	2	1
4. 咬合床の設計ができる	4	3	2	1
5. 咬合床の作製ができる	4	3	2	1
6. 採得された咬合関係を咬合器に再現できる	4	3	2	1
7. 支台装置, 連結装置の設計ができる	4	3	2	1
8. 支台装置, 連結装置の作製ができる	4	3	2	1
9. 人工歯の選択ができる	4	3	2	1
10. 咬合に調和した人工歯の排列ができる	4	3	2	1
11. 重合, 掘り出し, 研磨操作ができる	4	3	2	1

GIO: 不正咬合や顎関節症などの治療のため, 簡単な装置の技工技能を修得する(様式11)

矯正装置 症例数 /1 部位 _____

年 月 日 指導医

1. 簡単な矯正装置の設計ができる	4	3	2	1
2. 簡単な矯正装置が作製できる	4	3	2	1

スプリント 症例数 /1 部位 _____

年 月 日 指導医

1. スプリントの設計ができる	4	3	2	1
2. スプリントが作製できる	4	3	2	1

GIO: M. T. M.を行うため, 矯正治療の基本的処置を修得する(様式12)

治療計画 症例数 /1

年 月 日 指導医

1. M. T. M.症例の診断と治療計画立案ができる (症例の診断結果, 装置の選択, 治療方法をレポートにまとめる)	4	3	2	1
---	---	---	---	---

・可撤式装置

矯正装置の製作 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備 <input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 印象採得				
1) トレーの選択ができる	4	3	2	1
2) 印象採得ができる	4	3	2	1
2. 咬合採得ができる	4	3	2	1
3. 矯正装置の製作				
1) 設計ができる	4	3	2	1
2) 製作ができる	4	3	2	1

矯正装置の装着 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備 <input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 矯正装置を試適できる	4	3	2	1
2. 矯正装置を装着できる	4	3	2	1
3. 矯正装置の使用法と注意事項が説明できる	4	3	2	1

矯正装置の調整 症例数 /1 年 月 日 指導医

☐ 準備 ☐ 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)

1. 矯正装置の調整ができる 4 3 2 1

矯正装置の除去 症例数 /1 年 月 日 指導医

☐ 準備 ☐ 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)

1. M. T. M.に対する保定ができる 4 3 2 1

・固定式装置

矯正装置の製作 症例数 /1 年 月 日 指導医

☐ 準備 ☐ 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)

1. ブラケットのボンディングができる 4 3 2 1

2. ワイヤーの選択ができる 4 3 2 1

3. ワイヤーベンディングができる 4 3 2 1

4. ワイヤーの装着ができる 4 3 2 1

5. 矯正装置とその注意事項が説明できる 4 3 2 1

矯正装置の調整 症例数 /1 年 月 日 指導医

☐ 準備 ☐ 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)

1. ワイヤーの除去ができる 4 3 2 1

2. ワイヤーの調整ができる 4 3 2 1

3. ワイヤーの装着ができる 4 3 2 1

矯正装置の除去 症例数 /1 年 月 日 指導医

☐ 準備 ☐ 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)

1. ブラケットの除去ができる 4 3 2 1

2. 矯正装置除去後の保定ができる 4 3 2 1

GIO: 小児への対応法を修得する(様式13)

軽度の不協力患児(者)への対応 症例数 /1 年 月 日 指導医

☐ 準備 ☐ 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)

1. 小児にわかりやすい言葉で対応できる 4 3 2 1

2. Tell-show-do 法を応用できる 4 3 2 1

3. 系統的脱感作法を応用できる 4 3 2 1

4. モデル学習法を応用できる 4 3 2 1

GIO：乳歯・幼若永久歯の歯冠修復処置を修得する(様式14)

インレー修復①(～咬合採得まで) 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備 <input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 浸潤麻酔ができる				
1) 患者の固定ができる	4	3	2	1
2) 浸潤麻酔ができる	4	3	2	1
3) 麻酔後の咬傷に対する注意ができる	4	3	2	1
2. ラバーダム防湿ができる				
1) ラバーダムクランプを選択できる	4	3	2	1
2) ラバーシートの適切な部位に穿孔できる	4	3	2	1
3) 装着操作ができる	4	3	2	1
3. 窩洞形成ができる				
1) 切削器具を選択できる	4	3	2	1
2) 齶窩の開拡と軟化象牙質の除去ができる	4	3	2	1
3) 必要に応じて歯髄の保護剤(材)を選択し応用できる	4	3	2	1
4) 適切な窩洞形態に形成できる	4	3	2	1
4. 印象採得ができる				
1) 必要に応じて歯肉圧排ができる	4	3	2	1
2) 1次, 2次印象採得ができる	4	3	2	1
5. 咬合採得ができる	4	3	2	1

インレー修復②(鑄造歯冠修復物の合着) 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備 <input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. ラバーダム防湿ができる	4	3	2	1
2. 修復物の試適ができる	4	3	2	1
3. 咬合調整・研磨ができる	4	3	2	1
4. 修復物の合着ができる	4	3	2	1

成形修復(CR 充填) 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備 <input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 浸潤麻酔ができる				
1) 適切に患者の固定ができる	4	3	2	1
2) 浸潤麻酔ができる	4	3	2	1
3) 麻酔後の咬傷に対する注意ができる	4	3	2	1
2. ラバーダム防湿ができる				
1) ラバーダムクランプを選択できる	4	3	2	1
2) ラバーシートの適切な部位に穿孔できる	4	3	2	1
3) 装着操作ができる	4	3	2	1
3. 窩洞形成ができる				
1) 切削器具を選択できる	4	3	2	1
2) 齶窩の開拡と軟化象牙質の除去ができる	4	3	2	1
3) 必要に応じて歯髄の保護剤(材)を選択し応用できる	4	3	2	1
4) 適切な窩洞形態に形成できる	4	3	2	1
4. 充填ができる				
1) 隔壁操作ができる	4	3	2	1
2) 窩洞の前処置ができる	4	3	2	1
3) 填塞し硬化できる	4	3	2	1
5. 形態修正と研磨ができる	4	3	2	1

GIO: 乳歯・幼若永久歯における歯髄・根端性歯周組織疾患の治療法を修得する(様式15)

生活歯髄切断法 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備 <input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 浸潤麻酔ができる				
1) 患者の固定ができる	4	3	2	1
2) 浸潤麻酔ができる	4	3	2	1
3) 麻酔後の咬傷に対する注意ができる	4	3	2	1
2. ラバーダム防湿ができる				
1) ラバーダムクランプを選択できる	4	3	2	1
2) ラバーシートの適切な部位に穿孔できる	4	3	2	1
3) 装着操作ができる	4	3	2	1
3. 歯質の切削・歯髄の除去ができる				
1) 切削器具を選択できる	4	3	2	1
2) 齶窩の開拡大ができる	4	3	2	1
3) 髄室の開拡大(天蓋の除去)ができる	4	3	2	1
4) 冠部歯髄の除去ができる	4	3	2	1
5) 歯髄の切断ができる	4	3	2	1
4. 薬剤の選択,応用ができる				
1) 切断糊剤が包摂できる	4	3	2	1
2) 裏層(介在裏層を含む)ができる	4	3	2	1

根管の処置 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備 <input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. ラバーダム防湿ができる				
1) ラバーダムクランプを選択できる	4	3	2	1
2) ラバーシートの適切な部位に穿孔できる	4	3	2	1
3) 装着操作ができる	4	3	2	1
2. 切削操作ができる				
1) 切削器具を選択できる	4	3	2	1
2) 齶窩と髄室の開拡大ができる	4	3	2	1
3) 根管口の明示と拡大ができる	4	3	2	1
3. 根管内の感染物質を除去できる				
1) 根管内容物を除去できる	4	3	2	1
2) 根尖孔の穿通ができる	4	3	2	1
4. 根管治療薬を貼薬できる				
1) 根管治療薬を選択できる	4	3	2	1
2) 根管治療薬を貼薬できる	4	3	2	1
5. 仮封処置ができる				
1) 仮封方法を選択できる	4	3	2	1
2) 仮封処置ができる	4	3	2	1

GIO：乳歯を抜歯するための知識，態度，技能を修得する(様式16)

乳歯抜歯 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 浸潤麻酔ができる					
1) 患者の固定ができる	4	3	2	1	
2) 浸潤麻酔ができる	4	3	2	1	
3) 麻酔後の咬傷に対する注意ができる	4	3	2	1	
2. 抜歯ができる					
1) 必要な器具が選択できる	4	3	2	1	
2) 適切な手技で抜歯できる	4	3	2	1	
3) 患者に抜歯後の注意ができる	4	3	2	1	
4) 保護者に抜歯後の注意ができる	4	3	2	1	

GIO：簡単な咬合誘導処置を修得する(様式17)

咬合誘導処置 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 処置の必要性を患者と保護者に説明できる	4	3	2	1	
2. 装置の使用目的を患者と保護者に説明できる	4	3	2	1	
3. 装置使用時の注意点を患者と保護者に説明できる	4	3	2	1	
4. 装置の簡単な調整ができる	4	3	2	1	

GIO：小児に対する保健指導を修得する(様式18)

保健指導 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 食生活・日常生活状態を問診できる	4	3	2	1	
2. 問診事項に対する問題点を保護者に指摘できる	4	3	2	1	
3. 具体的な改善方法を保護者に指導できる	4	3	2	1	

GIO：抜歯を安全に行うための知識，態度，技能を修得する(様式19)

治療計画 症例数 /3 年 月 日 指導医

1. 提示された症例の治療計画を立案する(レポート) (全身状態の評価,術式,予想される偶発症とその対応についてレポートにまとめる)	4	3	2	1	
---	---	---	---	---	--

抜歯 症例数 /10 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 術野の消毒ができる	4	3	2	1	
2. 局所麻酔ができる	4	3	2	1	
3. 器具の選択ができる	4	3	2	1	
4. 患者の体位の設定ができる	4	3	2	1	
5. 術者の姿勢,ポジショニングをとれる	4	3	2	1	
6. 抜歯の手技ができる	4	3	2	1	
7. 縫合ができる	4	3	2	1	
8. 症例に合わせた抜歯後の注意ができる	4	3	2	1	
9. 術中の声かけができる	4	3	2	1	
10. 患者の不安を緩和し,無痛的な治療ができる	4	3	2	1	

術後洗浄 症例数 /10

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 術野の消毒ができる		4	3	2	1
2. 症例に応じた含嗽,生活に対する指示ができる		4	3	2	1

抜糸 症例数 /10

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 術野の消毒を正しく行える		4	3	2	1
2. 抜糸を正しく行える		4	3	2	1

GIO: 無痛治療を安全に行うため,必要な局所麻酔の知識,態度,技能を修得する(様式20)

治療計画 症例数 /5

年 月 日 指導医

1. 提示された症例の治療計画を立案する(レポート) (全身状態の評価,局所麻酔法,予想される偶発症とその対応についてレポートにまとめる)		4	3	2	1
--	--	---	---	---	---

局所麻酔 症例数 /5

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 術野の消毒ができる		4	3	2	1
2. 局所麻酔法が選択できる		4	3	2	1
4. 患者の体位の設定ができる		4	3	2	1
5. 術者の姿勢,ポジショニングをとれる		4	3	2	1
6. 局所麻酔の手技ができる		4	3	2	1
9. 術中の声かけができる		4	3	2	1
10. 患者の不安を緩和し,無痛的な局所麻酔ができる		4	3	2	1

GIO: 初診の症例に対する基本的な診断技能を修得する(様式21)

診断のための基本技能 症例数 /3

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 問診ができる		4	3	2	1
2. チェア・サイドでの診査ができる		4	3	2	1
3. 画像検査,病理検査,臨床検査の選択ができる		4	3	2	1
4. 画像検査,病理検査,臨床検査所見の解釈ができる		4	3	2	1
5. 得られた所見から診断名を推定できる		4	3	2	1
6. 治療方針を説明できる(レポート)		4	3	2	1

GIO: 手術時の術衣の着衣,手指・術野の消毒の仕方を修得する(様式22)

手術のための基本技能 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 手指の消毒ができる		4	3	2	1
2. 術衣の着衣ができる		4	3	2	1
3. 術野の消毒ができる		4	3	2	1

GIO：無痛治療を安全に行うため，必要な局所麻酔の応用技能を修得する(様式23)

局所麻酔法 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 適切な手技で局所麻酔法ができる(伝達麻酔,歯根膜内麻酔)		4	3	2	1

GIO：障害者の歯科診療を行うため精神的，身体的特徴を考慮した対応方法を修得する(様式24)

障害者の治療 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. ケーススタディー					
1) 障害者管理法計画					
(1) 障害者の障害の程度を評価できる		4	3	2	1
(2) 管理方針を立案できる		4	3	2	1
2. 外来全身麻酔見学		4	3	2	1

GIO：高齢者の QOL 向上のため，精神的身体的特徴を考慮した管理方法を修得する(様式25)

高齢者の治療 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. ケーススタディー					
1) 高齢者管理法計画					
(1) 高齢者の日常生活動作の評価ができる		4	3	2	1
(2) 適切な管理方針を立案できる		4	3	2	1
2. 静脈内鎮静法見学(チャート記入,準備)		4	3	2	1
3. 高齢者体験実習					
1) エルダートライを積極的に体験できる		4	3	2	1
2) エルダートライ体験者をうまく介護・誘導できる		4	3	2	1

GIO：口腔領域の神経疾患・心因性病態に関する診断と治療の実際を修得する(様式26)

ペインクリニック 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 症例見学		4	3	2	1
2. ケーススタディー(ペイン症例)		4	3	2	1

GIO：歯科治療の安全性を確保するため,全身管理と救急処置に関する知識,技能,態度を修得する(様式27)

全身麻酔 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 症例見学(手術室全身麻酔,術前回診,術中管理,術後管理)		4	3	2	1
2. ケーススタディー					
1) 得られた情報から全身状態を評価できる		4	3	2	1
2) 適切な全身管理法を立案できる		4	3	2	1

バイタルサイン観察 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)			
1. 準備				
1) 血圧測定の前準備ができる	4	3	2	1
2) モニタリング機器の前準備ができる	4	3	2	1
2. 手技				
1) 脈拍を観察できる	4	3	2	1
2) 血圧を測定できる	4	3	2	1
3) 血圧計から血圧値を読みとれる	4	3	2	1
4) 主な心電図異常を診断できる	4	3	2	1
5) パルスオキシメータから得られたデータを評価できる	4	3	2	1
6) 得られたデータから患者の全身状態を評価できる	4	3	2	1
7) 実施に際して患者の状態に配慮できる	4	3	2	1

静脈確保 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)			
1. 手技				
1) 適切な手技で静脈確保ができる	4	3	2	1
2) 実施に際して患者の状態に配慮できる	4	3	2	1

吸入鎮静法 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)			
1. 手技				
1) 適切な手技で吸入鎮静法ができる	4	3	2	1
2) 帰宅判定ができる	4	3	2	1
3) 帰宅に際して患者に注意事項を説明できる	4	3	2	1

一次救命処置 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)			
1. 診断				
1) 救急患者の全身状態を評価できる	4	3	2	1
2. 手技				
2) 適切な手技,順序で一次救命処置ができる	4	3	2	1

誤飲・誤嚥への対応 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)			
1. 誤飲・誤嚥時の症状を説明できる	4	3	2	1

GIO：患者の放射線被曝に対する不安を取り除くため、人体に対する放射線の影響と防護の方法を修得する(様式28)

講義, 実習 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 患者からのエックス線撮影に関する質問等に答えられる(レポート)		4	3	2	1
(患者の被曝軽減の方法と人体への影響をレポートにまとめる)					
2. 患者からのエックス線撮影に関する質問等に答えられる(筆記試験)		4	3	2	1
3. 個人モニタリングができる(ポケット線量計の測定結果を記入する)		4	3	2	1
4. 画像検査使用器材の管理ができる(現像処理等)		4	3	2	1

GIO：適切な画像を得るため、画像検査手技を修得する(様式29)

患者撮影(デンタル撮影) 症例数 /10 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 撮影時間を設定できる		4	3	2	1
2. コーンの位置付けができる		4	3	2	1
3. フィルム挿入, 位置付けができる		4	3	2	1
4. 現像処理ができる		4	3	2	1
5. 現像後の写真の評価(コーンカット, 根の伸び, 目的の部位が写っているか等)ができる		4	3	2	1

患者撮影(パノラマ撮影) 症例数 /10 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 管電圧・管電流の設定ができる		4	3	2	1
2. 断層領域への患者の位置付けができる		4	3	2	1
3. 撮影中の患者への注意, 呼びかけができる		4	3	2	1
4. 現像処理ができる		4	3	2	1
5. 現像後の写真の評価(断層域に入っているか等)ができる		4	3	2	1

患者撮影(パノラマ4分割顎関節撮影) 症例数 /2 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 管電圧・管電流の設定ができる		4	3	2	1
2. 患者の位置付けができる		4	3	2	1
3. 現像処理ができる		4	3	2	1
4. 現像後の写真を評価(上下左右のバランス等)ができる		4	3	2	1

患者撮影(頭部エックス線規格撮影) 症例数 /2 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 管電圧・管電流の設定ができる		4	3	2	1
2. 患者の位置付けができる		4	3	2	1
3. 現像処理ができる		4	3	2	1
4. 現像後の写真を評価(上下左右のバランス等)ができる		4	3	2	1

撮影デモ 症例数 /4 年 月 日 指導医

1. 様々なデジタルエックス線撮影装置を使用できる		4	3	2	1
---------------------------	--	---	---	---	---

GIO: 適切な画像診断を行うため, 画像検査の選択ならびに読影手順を修得する(様式30)

診断レポート 症例数 /40

年 月 日 指導医

1. 一般エックス線画像検査の結果から異常所見を列挙できる (診断レポートによる観察記録)	4	3	2	1
--	---	---	---	---

画像診断 症例提示による試験 /6

年 月 日 指導医

1. 先天異常・発育不全の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
2. 顎関節疾患の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
3. 損傷の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
4. 炎症の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
5. 嚢胞・腫瘍および類似性疾患の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
6. 唾液腺疾患の画像所見を解釈できる	4	3	2	1

GIO: CT 画像検査の適応を正しく理解するため, 再構成画像を用いた読影法を修得する(様式31)

診断レポート 症例数 /20

年 月 日 指導医

1. CT 画像検査の結果から異常所見を列挙できる	4	3	2	1
2. デンタルCT の読影ができる (診断レポートによる観察記録)	4	3	2	1

画像診断 症例提示による試験 /6

年 月 日 指導医

1. 先天異常・発育不全の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
2. 顎関節疾患の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
3. 損傷の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
4. 炎症の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
5. 嚢胞・腫瘍および類似性疾患の画像所見を解釈できる	4	3	2	1
6. 唾液腺疾患の画像所見を解釈できる	4	3	2	1

GIO: 検査を基盤とした歯科医療を行うため, 一般臨床検査を修得する(様式32)

検査項目の列挙 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備 <input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 生体検査の項目をリストアップできる	4	3	2	1
2. 検体検査の項目をリストアップできる	4	3	2	1
3. バイタルサインを把握できる	4	3	2	1

患者への対応 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備 <input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラポール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 適切な言葉遣いができる	4	3	2	1
2. 検査場所への誘導ができる	4	3	2	1
3. 検査の必要性を説明できる	4	3	2	1
4. 全身疾患を有する患者の口腔内に現れる症状を説明できる	4	3	2	1

検査の選択 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 一般スクリーニングに必要な検査を選択できる		4	3	2	1
2. 炎症疾患患者に必要な検査を選択できる		4	3	2	1
3. 感染症患者に必要な検査を選択できる		4	3	2	1
4. 貧血の患者に必要な検査を選択できる		4	3	2	1
5. 出血性素因の患者に必要な検査を選択できる		4	3	2	1

検査の実施 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 血圧測定ができる		4	3	2	1
2. 心電図検査を説明できる		4	3	2	1
3. 肺機能検査を説明できる		4	3	2	1
4. 出血時間検査ができる		4	3	2	1
5. 尿検査ができる		4	3	2	1
6. 簡易検査(血糖,感染症)ができる		4	3	2	1
7. 採血と血液一般検査と血液型の検査ができる		4	3	2	1
8. 細胞診・組織診の検体採取ができる		4	3	2	1

検査結果の判定 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 糖尿病患者の検査結果を判定できる		4	3	2	1
2. 肝炎患者の検査結果を判定できる		4	3	2	1
3. 腎疾患患者の検査結果を判定できる		4	3	2	1
4. 循環器疾患患者の検査結果を判定できる		4	3	2	1
5. 血液一般検査結果と血液型を判定できる		4	3	2	1
6. 出血性素因の検査結果を判定できる		4	3	2	1
7. 炎症疾患患者の検査結果を判定できる		4	3	2	1
8. 感染症患者の検査結果を判定できる		4	3	2	1
9. 細胞診・組織診の結果を判定できる		4	3	2	1

GIO: 検査を基盤とした歯科医療を行うため, 歯科特殊検査を修得する(様式33)

歯科特殊検査 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 歯科特殊検査をリストアップできる		4	3	2	1
2. 歯科特殊検査の方法を説明できる		4	3	2	1
3. 歯科特殊検査の必要性を説明できる		4	3	2	1

齲蝕活動性試験 症例数 /1 年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接(誘導,ラポール,現症・既往歴,インフォームドコンセント)				
1. 齲蝕予防検査の概要を説明できる		4	3	2	1
2. 唾液 pH を測定できる		4	3	2	1
3. 唾液流出量を測定できる		4	3	2	1
4. 唾液中総細菌数を測定できる		4	3	2	1
5. <i>S. mutans</i> 半定量試験ができる		4	3	2	1
6. <i>Lactobacillus</i> 半定量試験ができる		4	3	2	1
7. 口腔内カンジダ培養検査ができる		4	3	2	1
8. 唾液緩衝能試験ができる		4	3	2	1

金属アレルギー検査 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラボール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. アレルギーの病態を説明できる		4	3	2	1
2. 金属アレルギー検査の種類を挙げられる		4	3	2	1
3. DLST の概要を説明できる		4	3	2	1
4. パッチテストの概要を説明できる		4	3	2	1
5. パッチテスト時の諸注意を説明できる		4	3	2	1
6. パッチテストを貼付できる		4	3	2	1
7. パッチテストの結果を判定できる		4	3	2	1

味覚検査 症例数 /1

年 月 日 指導医

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラボール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 味覚の機能と構造, 神経支配を説明できる		4	3	2	1
2. 味覚検査の種類を挙げられる		4	3	2	1
3. ろ紙ディスク法ができる		4	3	2	1
4. ろ紙ディスク法の結果を判定できる		4	3	2	1
5. 電気的味覚検査ができる		4	3	2	1
6. 電気味覚検査結果を判定できる		4	3	2	1

GIO: 歯科で処方される医薬品を正しく利用するため, 各種医薬品の基本的特徴を修得する(様式34)

医薬品の投与計画 症例数 /5

年 月 日 指導医・薬剤師

<input type="checkbox"/> 準備	<input type="checkbox"/> 医療面接 (誘導, ラボール, 現症・既往歴, インフォームドコンセント)				
1. 医薬品を正しく取り扱える		4	3	2	1
2. 処方箋を書ける		4	3	2	1
3. 調剤ができる		4	3	2	1
4. 投薬(服用指導)ができる		4	3	2	1
5. 医薬品情報の収集・検索ができる		4	3	2	1
6. 院内調剤について理解できる		4	3	2	1
7. 抗生剤について説明できる		4	3	2	1
8. 消炎鎮痛剤について説明できる		4	3	2	1
9. その他の汎用薬剤について説明できる		4	3	2	1